

活断層

■ 調査対象範囲周辺の活断層

活断層診断では、独立行政法人防災科学技術研究所による活断層データベースをもとに、調査対象物件の所在地および周辺エリアの活断層の有無を診断します。

防災科学研究所の活断層データベース上で
確認出来ません



■ 備考

活断層とは、「新生代第4世紀に繰り返し活動し、今後の活動する可能性がある」とみなされる断層、地震活動の余りに重要」とあります。つまり、約100万年前より新しい時代に動いた形跡のある断層を活断層と呼びます。プレートの境界面に位置する日本列島は地盤に蓄積される歪みが大きく、周辺の海底も含めれば2,000の活断層があるとも言われています。近い過去に繰り返し地震が発生している活断層では今後も地震が発生する可能性が高く、活断層の位置や活動度の情報は防災上非常に重要です。活断層による地震は、地下の比較的浅い部分で発生するため局地的に大きな被害をもたらす危険性があります。特に、活断層が確認されている地域にお住まいの方には、家具の固定、住宅の耐震補強等の、地震防災対策を取る上での参考にして頂きたいと考えています。

注意事項

地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【防災科学研究所】 <https://www.bosai.go.jp>

液状化の可能性

■ 調査対象範囲周辺の液状化の可能性

調査対象物件所在地での液状化の可能性をレポートします。

液状化の可能性（微地形分類基準）：
やや高い(デルタ型谷底平野)



液状化の可能性：

非常に低い

■ 台地 ■ 丘陵 ■ 山地

やや高い

■ 自然堤防 ■ 後背湿地 ■ 砂州 ■ 三角州 ■ 干拓地
■ デルタ型谷底平野

低い

■ 扇状地 ■ 砂丘

高い

■ 埋立地 ■ 旧河道 ■ 砂丘間低地等軟弱地盤

■ 備考

液状化の可能性は微地形分類を基に地盤表層における可能性を表したものです。あくまでも一定の条件のもとでの結果ですので、地震防災対策の参考までに活用ください。

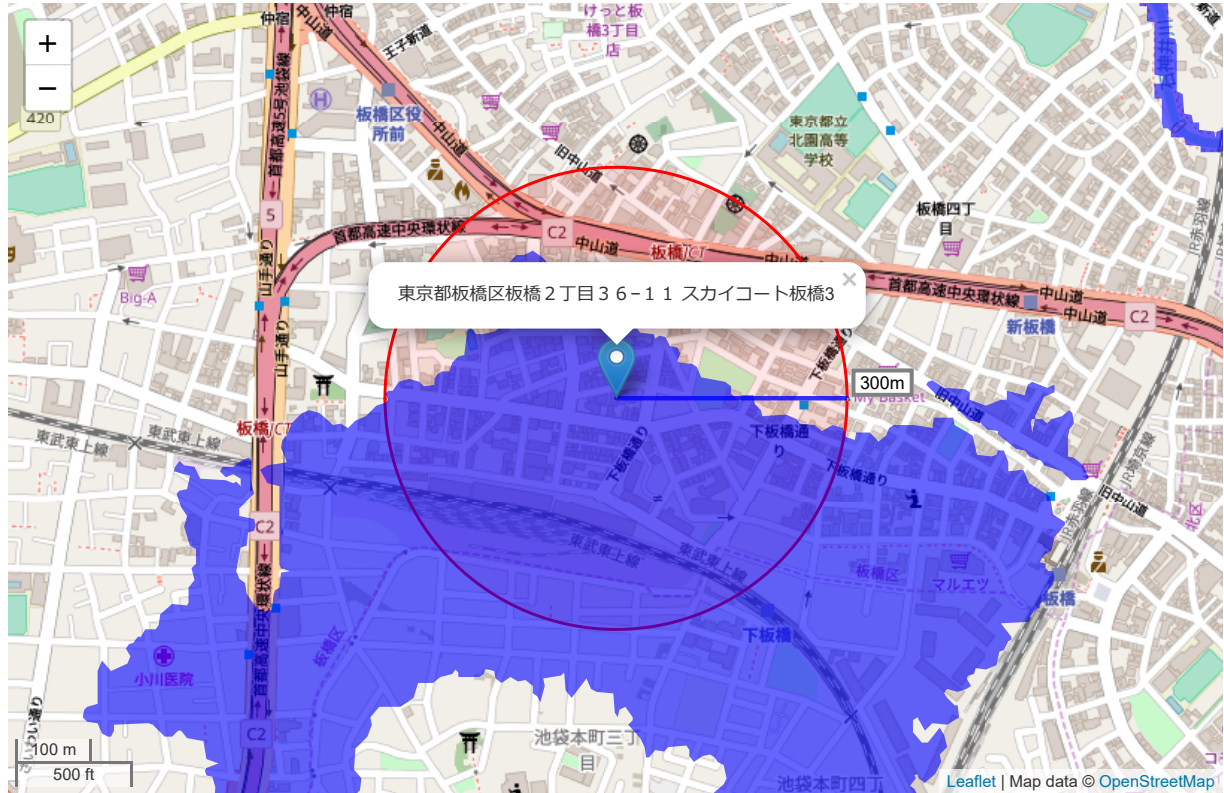
注意事項

地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【防災科学技術研究所】 <https://www.bosai.go.jp>

低位地帯

■ 調査対象範囲周辺の低位地帯

調査対象物件の所在地および周辺エリアに所在する、低位地帯情報をレポートします。



■ 距離の近い順(最大8件)

最大浸水深(m)	面積(ha)	住所	直線距離(m)
6.5	63.00	東京都豊島区池袋本町四丁目	0
0.5	1.00	東京都板橋区板橋一丁目	403
4.4	2.29	東京都板橋区加賀一丁目	793

■ 備考

調査対象物件の所在地および周辺エリアに所在する、低位地帯情報をレポートします。

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【国土交通省】 <https://www.mlit.go.jp>

避難施設

■ 調査対象範囲周辺の避難施設

調査物件の周辺エリアにある避難施設をレポートします。



■ 距離の近い順(最大5件)

項番	名称	住所	収容人数	直線距離(m)
1	板橋第二小学校	東京都板橋区板橋2-52-1	740	277
2	文成小学校	東京都豊島区池袋本町4-36-1	-	393
3	板橋第四小学校	東京都板橋区板橋4-9-13	960	401
4	板橋第七小学校	東京都板橋区大山金井町31-1	880	814
5	谷端小学校	東京都北区滝野川7-12-17	-	820

注意事項

地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。

※情報発信元：【国土交通省】 <https://www.mlit.go.jp>